

2023年3月期 決算補足説明資料



—やすらぎと安心の創造—

証券コード:5237

1. 2023年3月期 連結決算の概要	P. 3
2. 連結貸借対照表前期末比較	P. 8
3. 連結キャッシュ・フローの状況	P. 9
4. 連結経営指標（5年間推移）	P.10
5. 設備投資、減価償却費の状況	P.12
6. 2024年3月期 業績予想	P.13
7. 中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）	P.17
8. 株主還元方針	P.18
9. ESG経営への取り組み	P.19
10. トピックス	P.25

1. 2023年3月期 連結決算の概要

1-1 連結損益計算書前期比較

(金額:百万円)

	2023/3月期 実績		2022/3月期 実績		増減		2023/3月期 2/10公表予想値	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	達成率
売上高	20,975		20,546		+429		20,000	104.9%
営業利益	1,007	4.8%	1,848	9.0%	▲841	▲ 4.2pt	900	111.9%
経常利益	1,147	5.5%	1,987	9.7%	▲840	▲ 4.2pt	1,000	114.7%
特別利益	151	-	353	-	▲202	-		-
特別損失	547	-	131	-	▲415	-		-
親会社株主に帰属する 当期純利益	486	2.3%	1,713	8.3%	▲1,226	▲ 6.0pt	600	81.0%

当連結会計年度は、長期化するウクライナ情勢等による資源価格上昇や円安基調によりインフレが進行し、先行き不透明な状況で推移しました。当社主力の一般建築向け押出成形セメント製品「アスロック」の主要ターゲットである宿泊施設・商業ビルの着工床面積も低迷し、取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。このような状況のなか当連結会計年度の連結業績は増収減益となりました。増収の要因は住宅向け商品販売及び工事売上高の増加、減益の要因は原料・エネルギー高騰による原価アップです。

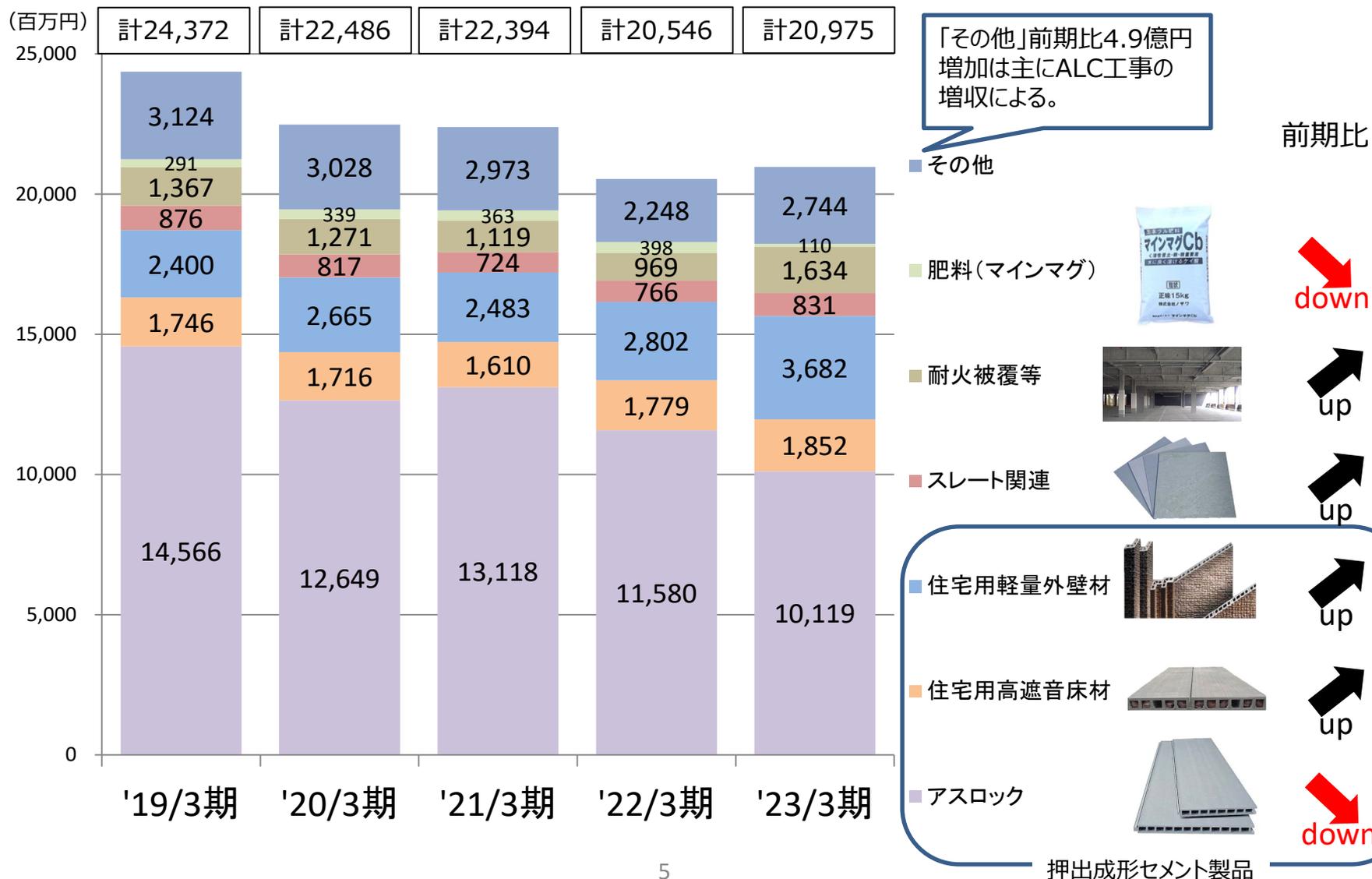
1. 2023年3月期 連結決算の概要

1-2 売上高 [前期比4億29百万円増収の209億75百万円]

- 主力の一般建築向けの押出成形セメント製品「アスロック」については、ウッドデザインシリーズの出荷が伸長しましたが、主要ターゲットである宿泊施設・商業ビルの着工床面積の低迷等により「アスロック」の売上高は前期比14億60百万円減の101億19百万円となりました。
- 住宅向けの押出成形セメント板は堅調に推移し、「住宅用高遮音床材」は前期比72百万円増、「住宅用軽量外壁材」は前期比8億80百万円増となり、これら住宅向けで9億52百万円増収の55億34百万円となりました。押出成形セメント板合計では前期比5億7百万円減の156億54百万円となりました。
- スレート関連は、内装用素地ボードが前期比増となったこと等から前期比64百万円増となりました。
- 工事については、耐火被覆工事やALC工事が伸びて、前期比6億12百万円増となりました。
- なお、肥料（マインマグ）については、本年1月開示の「弊社マインマグ製品の使用停止についてのお知らせ」のとおり、マインマグ製品の一部に法令の基準を超える石綿が含まれているおそれが高いことが判明したため、判明以降全てのマインマグ製品の出荷を停止いたしました。お客様の安全を第一に考えて万全を期すために、マインマグ製品の自主回収をさせて頂いており、これらのことから、マインマグ売上高は前期比2億88百万円減となりました。

1. 2023年3月期 連結決算の概要

1-2 売上高 [連結品種別売上高推移]



1. 2023年3月期 連結決算の概要

1-3 各段階利益

[営業利益 前期比8億41百万円減益の10億7百万円]

- 前期より徐々に顕在化してきた原材料・エネルギー価格の高騰は、当期に入りさらに上昇し、大きな影響を与えました。これら高騰に耐える体質とすべく、工場でのNNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）改善活動によるコストダウンをさらに展開し、その効果として1.8億円ありました。
- 製品値上げについても、押出成形セメント製品平均で3.8%アップし、約3億円の増益要因となっております。
- しかし、原材料・エネルギー価格は異常な勢いで価格が上昇しました。各要素の前期比上昇率は原材料で平均15%、ガスで63%、電力で55%、それぞれ上昇し、9.5億円の減益となりました。
- また、前述のとおり宿泊施設・商業ビル着工床面積の低迷等による販売数量の減少で3.8億円の減益となり、原材料・エネルギー価格上昇による影響と合わせ、前期比減益の主要因となっております。
- 工事についても、競争激化によりノザワ商事の工事利益率が低迷し、1.2億円の減益となりました。
- これらのことから、連結売上総利益は前期比10億35百万円減少の57億35百万円となりました。
- 販管費については、運送費値上げを受け、顧客から受け取る運賃を一部値上げなど物流費の抑制を図ったこと等により、前期比1億93百万円減少の47億28百万円となりました。なお、売上高比販管費率については、1.5ptダウンの22.5%となっております。
- これらのことから営業利益は前期比8億41百万円減少の10億7百万円となりました。

1. 2023年3月期 連結決算の概要

1-3 各段階利益

[経常利益 前期比8億40百万円減益の11億47百万円]

- 営業外収支については、前期に為替差益41百万円の計上があったことの反動等があった一方、受取配当金の増加や営業外費用の減少があったため、前期比1百万円の増加となりました。
- 経常利益は、営業減益にこの営業外収支の増加を加味し、前期比8億40百万円減益の11億47百万円となりました。

[親会社株主に帰属する当期純利益 前期比12億26百万円減益の4億86百万円]

- 特別利益は前期比2億2百万円減少の1億51百万円。投資有価証券売却益が前期比1億32百万円増加した一方、前期は為替換算調整勘定取崩益2億61百万円、製品補償引当金戻入益20百万円、火災関連損失引当金戻入益54百万円の計上があったこと等によります。
- 特別損失は前期比4億15百万円増加の5億47百万円。当期に訴訟損失2億34百万円、製品自主回収関連費用2億4百万円、関係会社清算損失36百万円を計上したこと等によります。
- 当期の特別損益の合計は3億96百万円の損失、前期比では6億18百万円の悪化となりました。
- 上記に税金費用を加味し、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比12億26百万円減益の4億86百万円となりました。

2. 連結貸借対照表前期末比較

【連結貸借対照表 主な前期末比増減】

科目	増減額	科目	増減額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	▲22	支払手形及び買掛金	+403
受取手形及び売掛金等	+637	未払法人税等	▲77
棚卸資産		賞与引当金	▲34
商品及び製品	+51	関係会社清算損失引当金	+5
仕掛品	+4	その他	+78
原材料及び貯蔵品	+44	計	+375
未成工事支出金	▲20	固定負債	
その他	+56	退職給付に係る負債	▲129
計	+750	訴訟損失引当金	+234
固定資産		その他	▲32
有形固定資産	▲171	計	+72
無形固定資産	+56	負債計	+448
投資有価証券	+19	純資産	
繰延税金資産	+29	利益剰余金	+30
その他	▲105	其他有価証券評価差額金	+65
計	▲170	為替換算調整勘定	+1
資産計	+580	退職給付に係る調整累計額	+35
		純資産計	+132
		負債純資産計	+580

【総資産の増減】

総資産は前期末比5.8億円増加。主に、受取手形及び売掛金等が6.3億円増加したこと等によります。

【負債の増減】

負債は前期末比4.4億円増加。主に、支払手形及び買掛金が4.0億円、訴訟損失引当金が2.3億円、それぞれ増加したこと等によります。

【純資産の増減】

純資産は前期末比1.3億円増加。利益剰余金が0.3億円、其他有価証券評価差額金0.6億円、それぞれ増加したことによります。

3. 連結キャッシュ・フローの状況

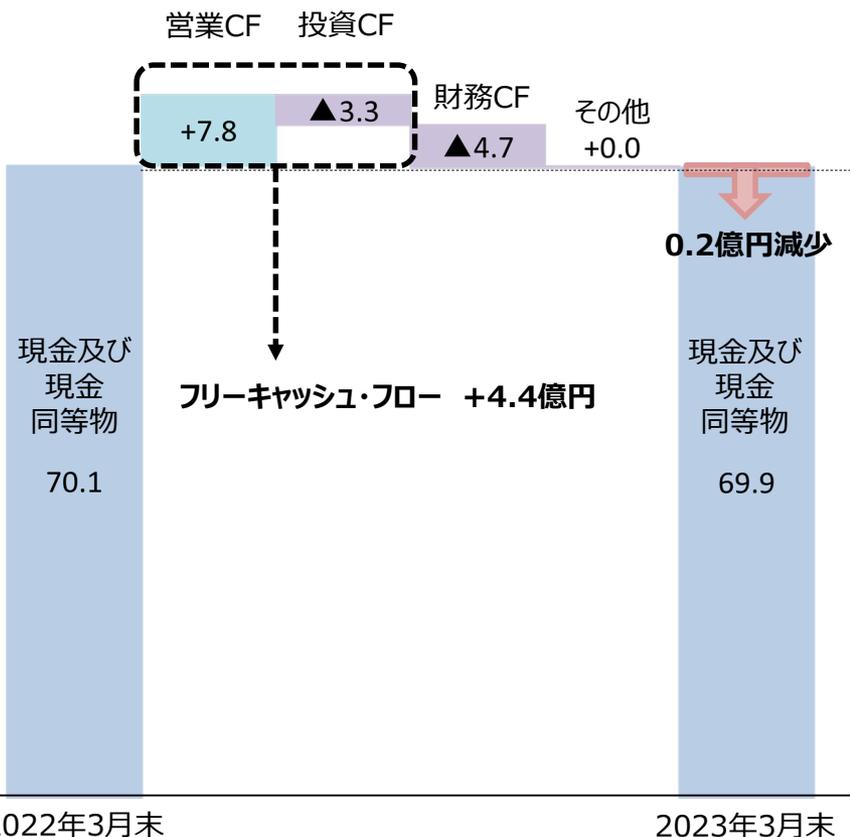
- 営業キャッシュ・フローは+7.8億円、投資キャッシュ・フローは▲3.3億円となり、フリーキャッシュ・フローは+4.4億円。財務キャッシュ・フローは▲4.7億円。
- 上記の結果、当期末の現金及び現金同等物は前期末比0.2億円減少の69.9億円。

【現金及び現金同等物の増減内訳】

(億円)

【連結キャッシュフロー計算書 概要】

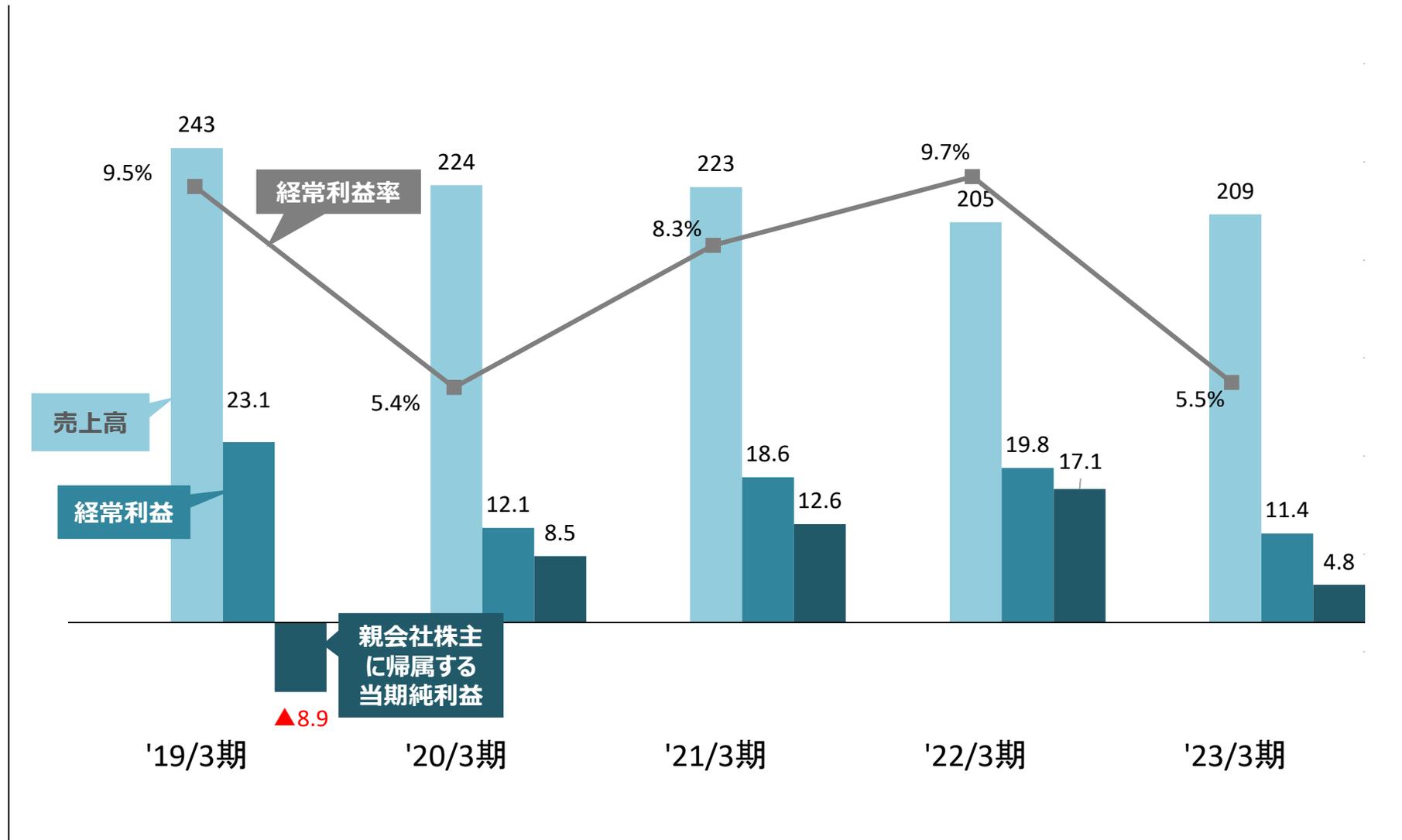
(百万円)



項目	金額	備考
税金等調整前当期純利益	751	
減価償却費	694	
売上債権の増加額	▲675	
棚卸資産の増減額	▲79	
仕入債務の増減額	413	
その他	▲322	
営業活動によるキャッシュ・フロー計	782	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲333	主に有形固定資産の取得
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲474	主に配当金の支払い

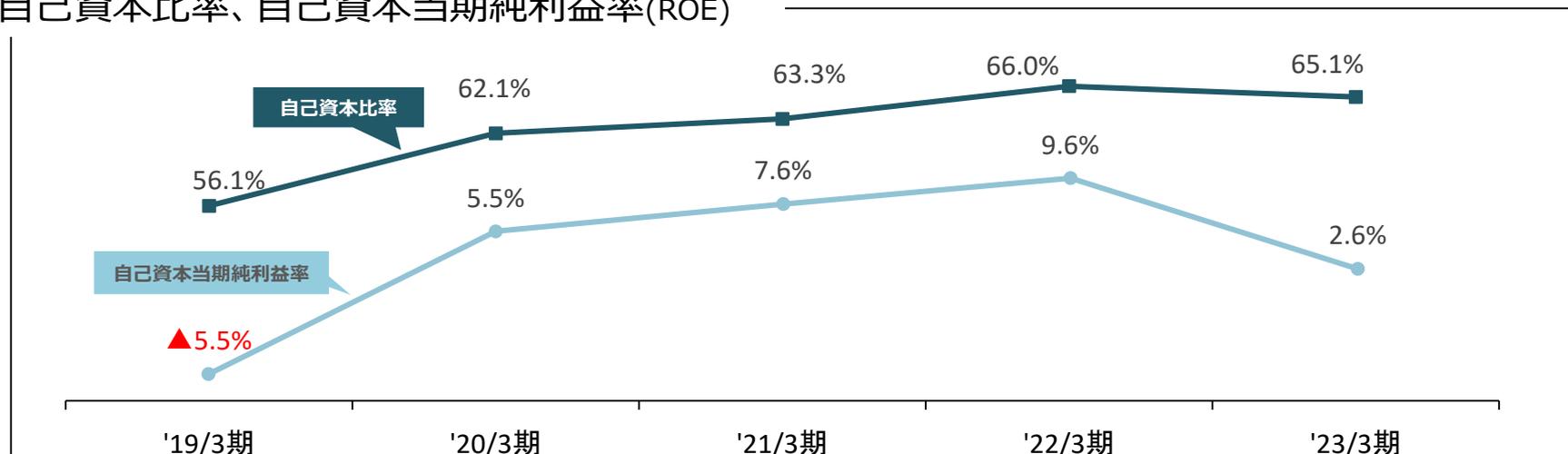
4. 連結経営指標（5年間推移）

売上高、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益（億円）並びに経常利益率（%）

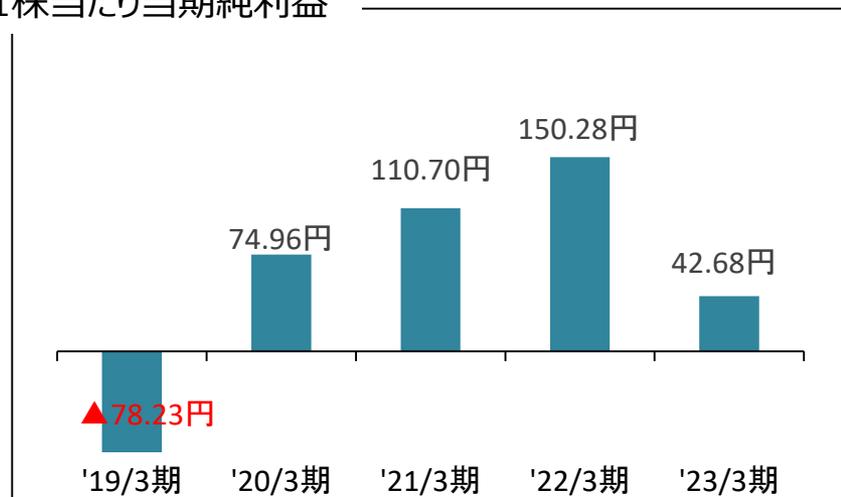


4. 連結経営指標（5年間推移）

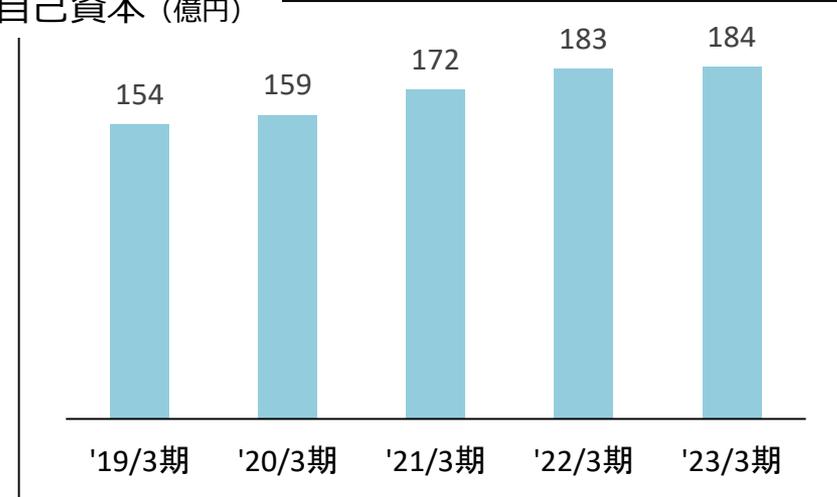
自己資本比率、自己資本当期純利益率(ROE)



1株当たり当期純利益

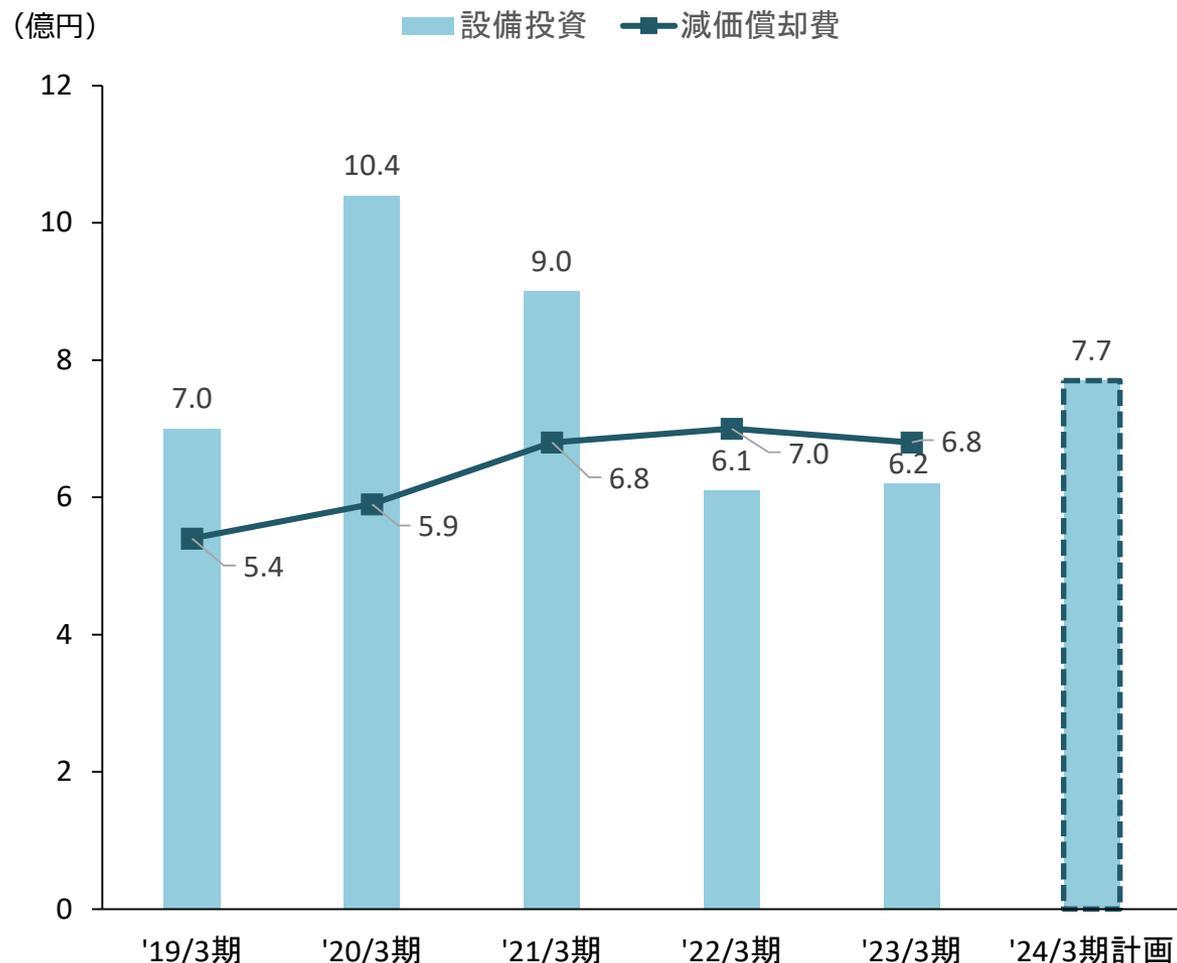


自己資本 (億円)



5. 設備投資、減価償却費の状況

【設備投資、減価償却費の推移】



■ 主な設備投資

(‘23/3期)

- ・ 各工場設備更新

(‘24/3期 計画)

- ・ 能力増強
- ・ 各工場設備更新

6. 2024年3月期 業績予想

(金額:百万円)

	2024/3月期 予想				2023/3月期 実績				増減			
	第2四半期		通期		第2四半期		通期		第2四半期		通期	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率
売上高	10,500		21,500		10,217		20,975		282		524	
営業利益	460	4.4%	1,150	5.3%	603	5.9%	1,007	4.8%	▲143	▲1.5pt	142	+0.5pt
経常利益	500	4.8%	1,200	5.6%	711	7.0%	1,147	5.5%	▲211	▲2.2pt	52	+0.1pt
親会社株主に帰属 する当期純利益	280	2.7%	730	3.4%	415	4.1%	486	2.3%	▲135	▲1.4pt	243	+1.1pt

6. 2024年3月期 業績予想

【上期業績見込】

売上高

- 前期低迷しておりました当社主力の「アスロック」の主要ターゲットである宿泊施設・商業ビルの着工床面積は、緩やかに回復していくと見込まれます。住宅向け商品については、供給先の動向から前年同期比増加となる見通しです。
- 工事については、新規受注の落ち込みにより前年同期比減少すると見込まれます。工事口売上高が減収となる一方で、製品販売価格改定が徐々に浸透していることから、販売口売上高は増収となり、上期の連結売上高は前年同期比2億82百万円増収の105億円を見込んでおります。

利益

- 当期も資源高の影響が続くことが想定され、原価の前年同期比上昇幅は、原材料で15%、電力で32%それぞれ上昇すると見込まれます。ただし、ガスについては補助金の適用により影響は軽微であると見込まれます。
- N N P S 改善活動を実行するとともに、製造現場全体の人材育成を図り改善力を向上させ、利益確保につなげることで、営業利益は前年同期比1億43百万円減益となる4億60百万円、経常利益は前年同期比2億11百万円減益となる5億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億35百万円減益となる2億80百万円を見込んでおります。

6. 2024年3月期 業績予想

【下期業績見込】

売上高

- 宿泊施設・商業ビルの着工床面積の回復に伴い、「アスロック」の売上が回復すると見込まれます。住宅向け商品については堅調に推移する見通しです。
- 工事については、上期同様、新規受注の落ち込みにより前年同期比減少すると見込まれますが、製品販売価格改定が更に進み、その効果とあわせ、販売口売上高は増収となり、下期の連結売上高は前年同期比2億41百万円増収の110億円を見込んでおります。

利益

- 上期同様、資源高の影響が続くことが想定され、原価の前年同期比上昇幅は、原材料で13%上昇すると見込まれます。なお、電力については契約の見直しを進めることにより、ガスについては価格上昇が収まる見通しであることから、影響はそれぞれ軽微であると見込まれます。上期同様利益確保への取組及び製品販売価格改定効果により、営業利益は前年同期比2億86百万円増益となる6億90百万円、経常利益は前年同期比2億64百万円増益となる7億円を見込んでおります。また、前期は特別損失に、製品自主回収関連費用2億4百万円、訴訟損失2億34百万円の計上があったこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億78百万円増益となる4億50百万円を見込んでおります。

6. 2024年3月期 業績予想

【通期業績見込】

- 売上高は前期比2.5%増、5億24百万円増収となる215億円、営業利益は前期比1億42百万円増益となる11億50百万円、経常利益は前期比52百万円増益となる12億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2億43百万円増益となる7億30百万円を見込んでおります。
- 生産コスト上昇を踏まえた製品販売価格改定及びコストアップ抑制への取組により、通期業績予想の売上高経常利益率は前期並みの5.6%となる見込みですが、環境対応商品「アスロックグリーンウォール」「アスロックソーラーパネル」や「フレキシブルシート 素地シリーズ」など当社独自の高付加価値商品の積極的・戦略的な営業展開により、競合商品との差別化を図り、収益拡大を図ることで、中期経営計画に掲げた目標「2026年3月期経常利益率12%以上」の達成に向け取り組んでまいります。

7. 中期経営計画 (2024年3月期～2026年3月期)

＜基本方針＞

2027年の創業130周年に向け、経営基盤の強化と事業の更なる発展を図るため、いつも新しいことを追求、「**全社三大戦略プラスONE**※」を展開し、全領域での差別化を推進する。
2026年3月期 経常利益率12%以上を目指す。

収益拡大戦略

- 差別化戦略の推進による顧客満足度の向上により基幹事業を拡大 (受注優位環境の創造、早期受注判断による成約率UP)
- 住宅用ボード、超高層向けパネル、環境商品の拡販 (販売環境整備、成果追求による商談増)

※「プラスONE」

- 持続可能な社会の実現に向け、企業が長期的な成長を遂げるために、「環境」・「社会」・「企業統治」の3つの要素を考慮して経営を行う「ESG」経営への取り組みを推進する。

ESG経営への取り組み

- カーボンニュートラルの実現 (SBT認証、CO2吸収型押出成形セメント板の製品化技術開発)
- 従業員エンゲージメントの向上
- 積極的な情報開示、公正・透明な経営、コンプライアンス遵守



飛躍成長戦略

- 差別化商品の新商品開発。 (2024年3月期新商品4件上市)
- 顧客の要望を満足する新商品開発 (2024年3月期新商品4件上市)
- 持続可能な製造技術の追求 (CO2吸収型押出成形セメント板の製品化技術開発)
- 新商品売上高比率30%以上

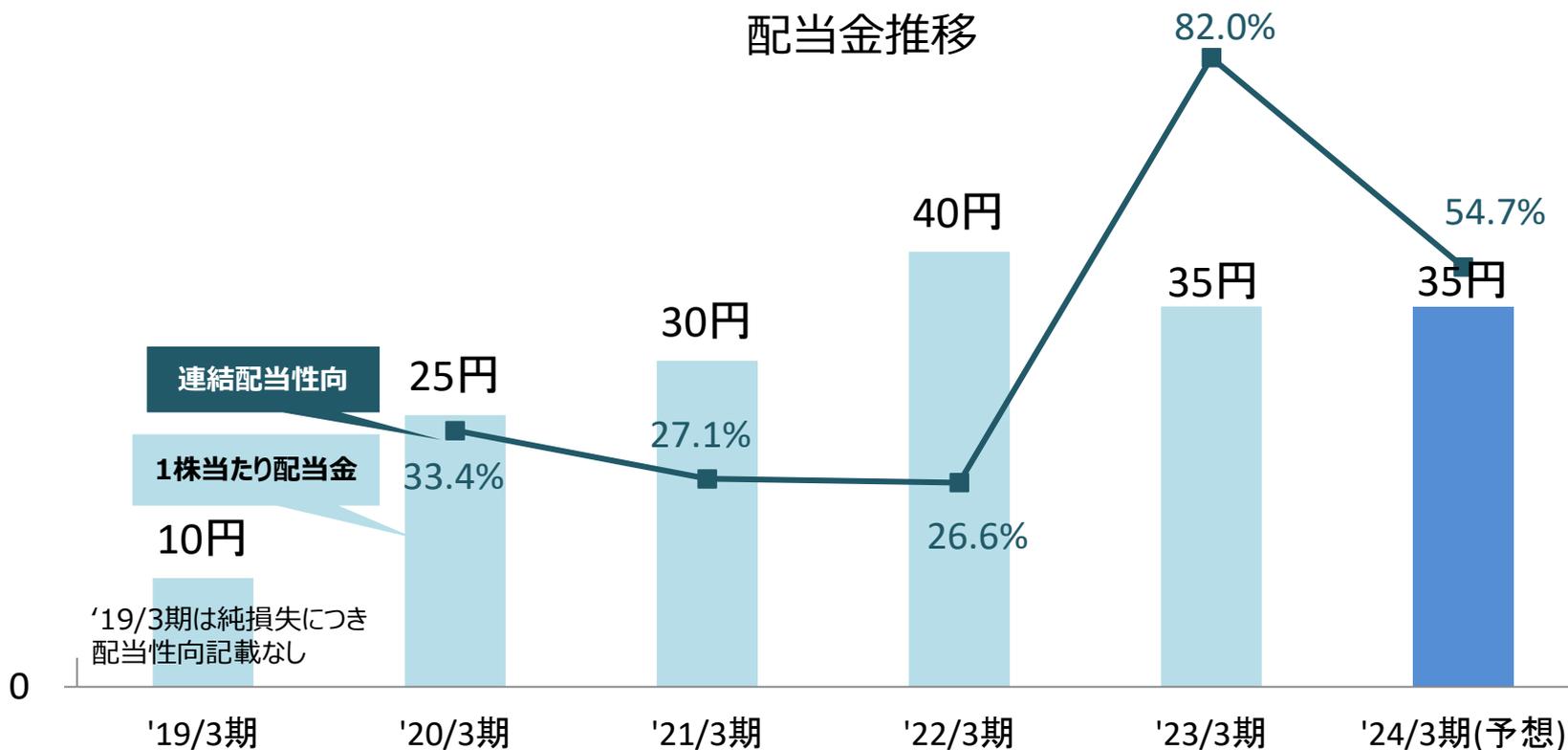
体質強化戦略

- 原料エネルギー高騰に耐えるコストダウン (設備生産性の向上、廃棄物量削減、物流積載率向上)
- 品質保証体制の厳格化によるお客様満足度の向上
- 住宅向商品増産体制の構築
- IT活用による経営効率のアップによる企業価値の向上
- 人事教育制度改革 (公正な評価制度、個人の能力に合わせた教育制度)

8. 株主還元方針

当社は、将来の設備投資、研究開発に備え、経営基盤及び財務体質を強化すべく内部留保の充実を前提とし、連結配当性向30%を目途に業績に見合った株主への安定的な配当の維持及び適正な利益還元に努めてまいります。

当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、株主総会であります。



環境 (*Environment*) – カーボンニュートラルの実現 –

NEDO グリーンイノベーション基金事業「CO₂ を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施するコンソーシアム「CUCO (クーコ)」※に参画し、CO₂固定化コンクリート技術を活用したCO₂吸収型押出成形セメント板の製品化技術開発に着手



CO₂吸収型押出成形セメント板イメージ

※鹿島建設株式会社、デンカ株式会社、株式会社竹中工務店を幹事会社とする
55の企業・大学・研究機関によるコンソーシアム

9. ESG経営への取り組み

環境 (*Environment*) – カーボンニュートラルの実現 –

温室効果ガス削減目標がSBTイニシアチブの認定を取得しました

当社は、2030年に向けた当社の温室効果ガス削減目標が、パリ協定に整合した科学的に根拠ある水準であると認められ、2022年12月に「SBTイニシアチブ (Science Based Targets initiative)」の認定を取得しました。

温室効果ガス削減目標
2030年度**50%削減** (2018年度比)



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

9. ESG経営への取り組み

環境 (*Environment*) – カーボンニュートラルの実現 –

ノザワ・AGC で外壁への太陽光パネル設置工法を協同で開発

「アスロックレールファスナー太陽光パネル設置工法」(仮称)は、主に鉄骨造のビル建築などの外壁に採用されるアスロックに、太陽光パネルを乾式工法で設置し一体化させた外壁発電工法です。



施工イメージ



地震を想定した試験の様子

既に地震や強風などの自然災害に対する安全性の確認を完了しており、本格的な販売開始に向けて準備を進めています。

9. ESG経営への取り組み

社会 (Social) – ワークライフバランスの推進 –

「ひょうご仕事と生活の調和」推進企業宣言を行いました

2023年1月11日、公益財団法人兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センターの「ひょうご仕事と生活の調和」推進企業宣言を行いました。

これは、兵庫県内の企業がワーク・ライフ・バランスの向上のため、職場環境の改善に取り組むことを宣言するものです。

社員全員が働きやすい職場を目指し、社内制度の改革に取り組んでまいります。



社会 (Social) – 従業員のエンゲージメント向上 –

ノザワ従業員持株会 奨励金制度の改定

従業員の福利厚生の充実を図り、従業員の株価への意識や労働意欲を向上させるなど、当社の企業価値の向上を図ることを目的に奨励金を加入年数に応じて、最大 20%に引き上げることといたしました。

また、従業員持株会への加入を正社員に限定からパート・アルバイトにまで拡大しました。

従業員に対する譲渡制限付株式報酬制度を導入

当社は全員参加型の経営を目指しております。

全社員が株主となることにより、経営に全員で参加する意識を向上させると共に、当社グループの企業価値の継続的な向上を図るインセンティブを与えることを目的とし、譲渡制限付株式報酬制度を導入しました。

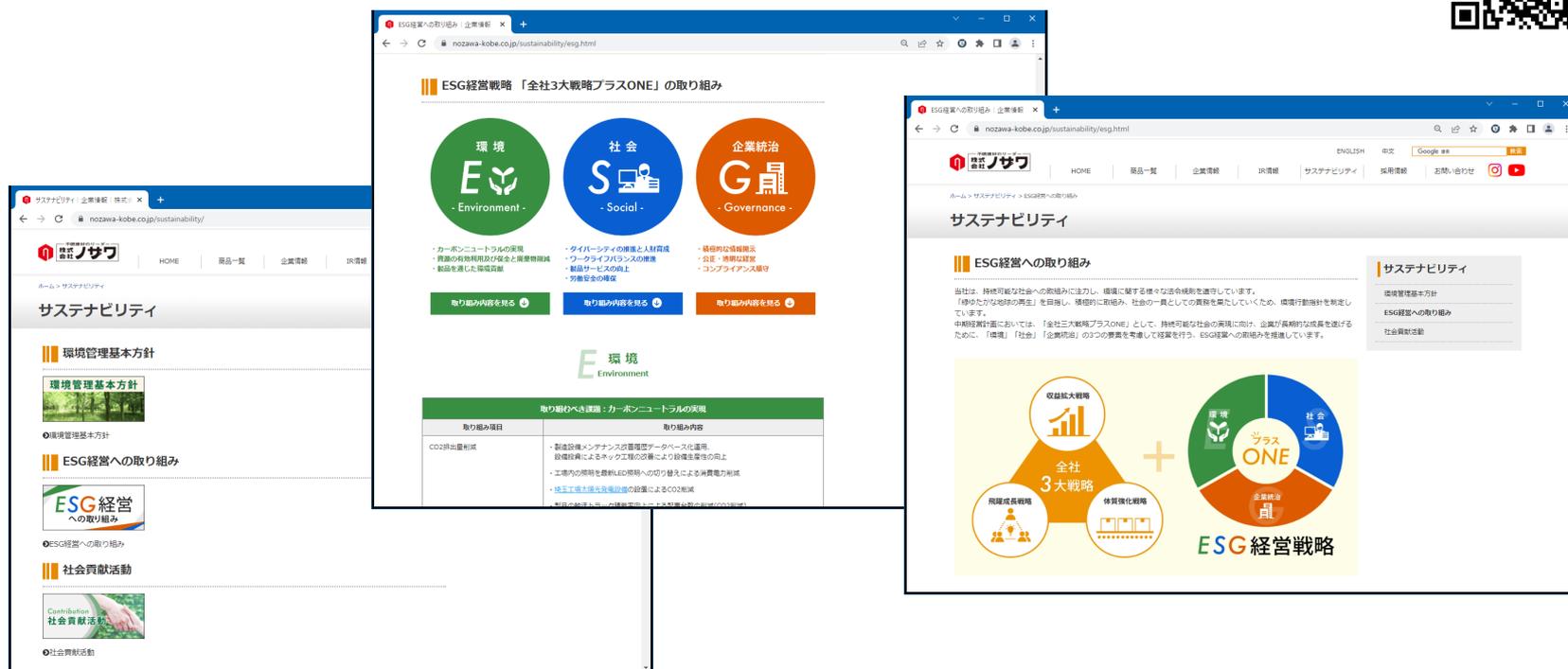
社員のエンゲージメントを高め、「人を大事に」する方策について、今後も追求・実践してまいります。

10. トピックス-サステナビリティページを公開

サステナビリティページを公開しました。

当社のサステナビリティの取り組みを発信する場として、サステナビリティページを公開しました。ESG経営への取り組み、社会貢献活動など、積極的に当社の取り組みを開示してまいります。

サステナビリティページURL <https://www.nozawa-kobe.co.jp/sustainability/index.html>



The image displays three overlapping screenshots of the Nozawa Sustainability website. The top screenshot shows the main ESG strategy page with three pillars: Environment (E), Social (S), and Governance (G). The middle screenshot shows a detailed view of the Environment pillar, highlighting the 'Carbon Neutrality' goal and listing various initiatives like energy conservation and renewable energy. The bottom screenshot shows the overall ESG management strategy, featuring a 'Plus One' model and the '3 Major Strategies' (Revenue Growth, ESG Management, and Human Resource Development).

環境管理基本方針を改定

地球環境の保全と快適な生活環境の創造を両立する。

株式会社ノザワは「人々の生活と安全を守り、快適な住環境を創り出す部材とシステムを提供し、社会の発展に貢献する企業をめざす」の理念のもと、サプライチェーン全体における環境負荷低減に取り組むとともに、環境保全に貢献する技術開発と商品の提供を通じて、持続可能な社会の実現に努めます。

環境行動指針

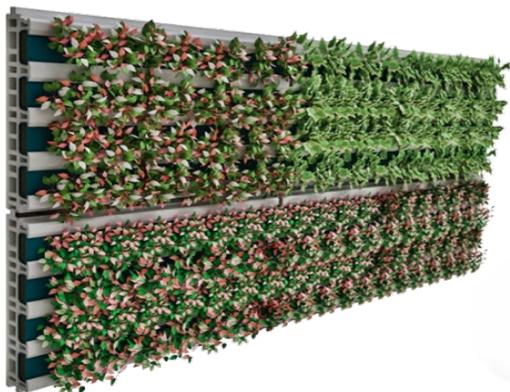
1. 省エネ、創エネ、再エネの利用を推進し、事業活動に伴うCO2排出量を低減する
2. 省資源化、リサイクル活動を積極的におこない、循環型社会の実現に貢献する
3. 環境負荷低減、資源循環に配慮した技術と商品の開発を推進し、環境保全に貢献する
4. 積極的な緑化活動を通じて、地域社会と森林保全に貢献する
5. 環境活動教育を行い、従業員の環境意識を向上させる

10. トピックス-新商品発売

アスロック 新デザインパネル「ソレイユライン」を2023年5月より発売 <意匠登録第 1424733 号・1424734 号>

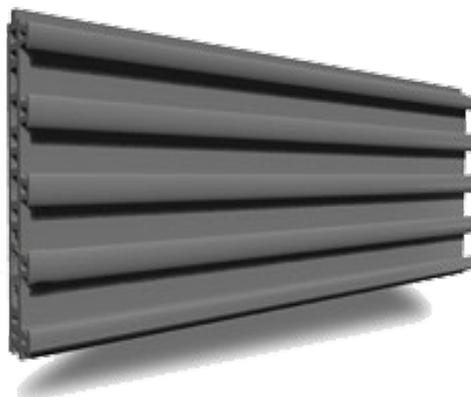
壁面緑化商品として販売しているアスロック「グリーンウォールビルトインタイプ」の基材をデザインパネルとして商品化しました。

「ソレイユライン」を断面からみるとリブの先端にヒマワリの花を思わせる独創的なデザインであり、外壁にご採用頂くことで重厚感ある壁面を構成できるとともに、長大なリブの陰影が壁面に深みを与えます。



「グリーンウォールビルトインタイプ」

アスロックの専用リブに植栽
基盤ブロックを設置した
壁面緑化パネル



「ソレイユライン」

グリーンウォールビルトインタイプ
の基材をデザインパネルとして
発売



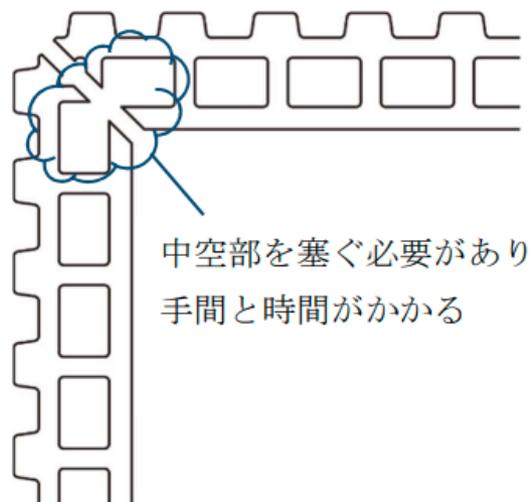
施工例：浜松いわた信用金庫

10. トピックス-新商品発売

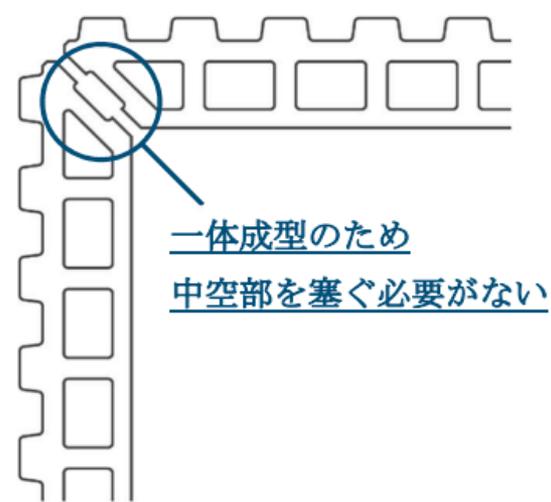
「タスロック 45度コーナー」を2023年1月より発売

「タスロック 45度コーナー」は更なる技術革新により、デザインパネルでも一体成型でパネル端部に45度の傾斜を施すことが可能となりました。この技術革新により、輸送及びパネル建込時の破損リスク低減とともに施工省力化が図れます。

＜従来のタスロック 45度切断コーナー＞



＜タスロック 45度コーナーを使用＞



10. トピックス-新商品発売

フレキシブルシート素地シリーズ

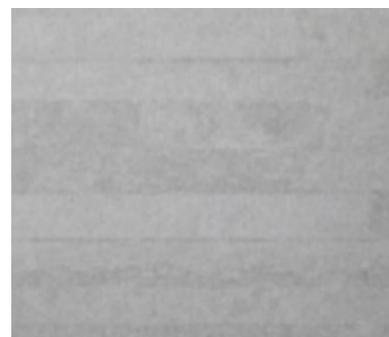
「つづれおり」※と「プレコート」を2023年2月より発売

＜※特許出願済＞

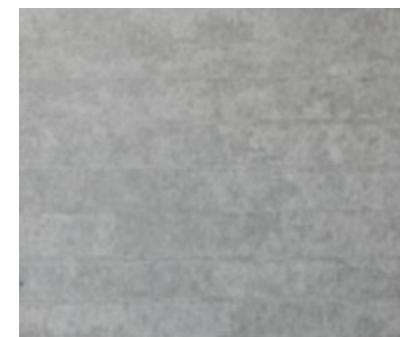
素材感をそのままに活かしたセメントボード『フレキシブルシート素地シリーズ』
平滑なのに立体的な視覚効果をもつ“新たな意匠” 第一弾「つづれおり」と
無色の表面コーティングを施した「プレコート」を同時発売。



タイプBつづれおりプレコート 施工例



タイプB つづれおり



タイプD つづれおり

※「つづれおり」は、帯状の短冊で
綴(つづ)った模様を織り込んだ意匠です。

10. トピックス-新商品発売

アスロック ウッドデザインシリーズ全ラインナップが「工場塗装品」対応可能となりました。

ウッドデザインシリーズの全ラインナップ「彩実（あやざね）」、「糸実（いとざね）」、「旺実（おうざね）」の工場塗装が可能となりました。



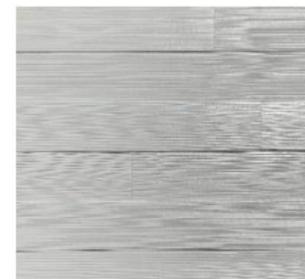
彩実（ライトグレー）



彩実
（ホワイト）



旺実
（ホワイト）



糸実
（ホワイト）

「糸実（いとざね）」、「旺実（おうざね）」の工場塗装は**2023年2月より出荷対応開始。**

10. トピックスーCSRの取り組み

兵庫県立大学にて野澤社長が講義を行いました

2022年12月16日みなと銀行・兵庫県立大学連携講座「地域企業の戦略と経営」の講師として当社の野澤社長が国際商経学部、経済学部、経営学部の学生に講義を行いました。

テーマを「創業125年 やすらぎと安心の創造」とし、125年の歩みを「旧十五番館の」歴史を交えながら、コーポレートメッセージ「やすらぎと安心の創造」に込めた思いと経営理念、取り組み、将来展望等について講義しました。

ノザワの創業来の遺伝子「常に新しいことの追求」と「人を大事に」の精神から、学生の皆様が自身の将来について思いを馳せる機会になれば幸いです。



10. トピックスー採用したい建材・設備メーカーランキング

日経アーキテクチュア採用したい
建材・設備メーカーランキング

7年連続 通算16回目 第1位



押し出し成形セメント板などの外装材（セメント系、樹脂系など）部門」

1位

読者を対象に、建材・設備メーカーの
製品採用意欲などをアンケート調査
2022年11月24日号

当社の商品では、外装材部門以外でも、
鉄筋コンクリート(RC)用外断熱工法では2位、耐火被覆材では6位
にランクインしています。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。